

2015.5.16

平和の名の下 戦争NO

新たな安全保障法制の関連法案が衆院に提出された十五日、「九条の会・石川ネット」など石川県内の七団体が金沢市内で共同記者会見を開いた。他国軍を支援するために自衛隊の活動を大幅に広げる安政法制に対し「日本の国民と国土が攻撃にさらされる危険性が格段に高まる」と厳しく非難。廃案を求める共同声明を発表した。(小室亜希子、山内晴信) ①面参照

県内7団体 共同声明



7団体の共同記者会見で、共同声明を発表する九条の会・石川ネット呼び掛け人の岩淵正明氏(右から4人目)ら=15日午後、金沢市で

七団体はこれまでそれぞれの立場で解釈改憲などに反対してきたが、共同で行動するのは初めて。九条の会・石川ネット呼び掛け人の岩淵正明氏は「安政法制の国会審議という重要な事態に共同で対処し、抗議する必要がある」と説明した。共同声明は、安政法制によって「自衛隊は米軍とともに地球上のあらゆる場所に部隊を展開し、あらゆる戦争に参加が可能になる」と強調。また憲法改正の手続きを経ずに法整備を進めることに「立憲主義、国民主権からも許されないと指弾している」。

団体代表ら談話

九条の会・石川ネット呼び掛け人 岩淵正明氏(法案が成立すれば)安政法制が根本的に変わる。憲法9条の中で日本は平和を保ってきたと再認識すべきだ。9条に反する立法は違憲であり、無効だ。

戦争をさせない1000人委員会・石川共同代表 糸矢敏夫氏 戦争をする国づくりをさせないように、署名を呼び掛けている。戦争法制成立阻止に向けて県内の世論を喚起していく。

憲法を無視／議論不足

石川憲法会議代表委員 東孝二氏 言葉遊びのようなことをして憲法を無視するのは許せない。「積極的平和主義」という言葉で国民をだまし、憲法違反をしようとしている。

石川県平和運動センター事務局長 中村照夫氏 安倍首相は「『平和』と叫ぶ無責任な人がいる」と言う。戦争の反省を生かす9条を破ろうとする人に無責任呼ばわりされたくない。

石川県労働組合総連合事務局長 長曾輝夫氏 戦争になれば、労働者も参加し

なければならない。権利の侵害だ。女性や子どもも犠牲になる。

石川県憲法を守る会共同代表 盛本芳久氏 「平和」「安全」とうその広告を出し、国民の中に十分な議論がないまま一気に法案を通そうとする。民主主義、国民主権を無視する行為だ。

戦争をさせない石川の会呼び掛け人 筋昭三氏 戦争の始まりは、昔は「事変」で今は「事態」だ。「平和支援」と言いながら、誰かが殺される。そんな事態には断固反対する。